

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス桜		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 1日		～ 令和6年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 10日		～ 令和7年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	提供時間内に、保護者様のご希望により、入浴や夕食、おやつ の支援を受けられる。そのことにより、家族支援を実施してい る。(休業日には、昼食も提供している。)	家庭での支援に出来る限り寄り添った支援を事業所でも実施出 来るように、家族から情報を得ている。また、ナリコマを利用 し、栄養面、献立のバリエーション等の充実を図っている。	スタッフ同士の支援方法の統一の為、業務連絡や研修時に話 し合いを行う。効率性だけでなく、質の向上を図る。
2	利用者様が市外でも、送迎を実施している。利用者様の希望さ れる送迎時間に合わせるよう送迎している。	遠方の方でも受け入れ可能であることを相談支援事業所の相談 員さんにも伝えている。	ホームページ等に掲載していく。
3	事業所の営業日が日曜日～土曜日である。(12月31日～1月3 日のみ休業。)	週末、休日にご家族様の時間を過ぎて頂けるよう家族支援を 実施している。	ショートステイと連携し、ご家族様の時間をもって頂けるよ うに、行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者様一人ひとりのプログラムに沿った支援をきちんとス タッフが把握し、実施すること。	提供時間内で、その日の利用者様のプログラムを作成し、実施 することが一つの課題である。	毎日の支援の為のスケジュールを見直し、検討する。
2	レクリエーション活動の時間が、短い。	毎日のプログラムには、計画されているが、重症心身障害児が 中心の為、全体的なレクリエーションも必要ですが、個別での 関わりが求められる。	保育士、児童指導員が、レクリエーションのバリエーション を増やす。誰でもできるレクリエーションのプログラムを作 る。
3	平日利用において、入浴・夕食・おやつと独自のものがある が、その他の時間の過ごし方で、桜ならではの特化したもの が見当たらない。	桜ならではの、独自のプログラムを考える必要がある。	一日一日のプログラムを見直し、利用者様が笑顔で帰宅で き、明日も利用したいと思えるものにしていく。